

## ■1日(金)

海部病院、初産分娩再開へ  
徳島県立海部病院が、休止していた初産の分娩受け付けを9月にも再開する。本年度になって看護師の数が確保できたためで、4年ぶりとなる。第二子以降も含め年間20件程度の出産に対応できるという。

## ■2日(土)

県ミニバスケ4強出そろう  
第5回徳島新聞社杯兼第33回県ミニバスケットボール選手権第4日は、鳴門アミノバリューホールで男女3回戦と準々決勝が行われた。今大会初の延長戦や、1点差の接戦などベスト4を目指し白熱の戦いが繰り広げられた。男子は富岡、羽ノ浦(以上阿南)、松心(小松島)、藍住A、女子は加茂名南、



論田(以上徳島市)、石井、牟岐が準々決勝に進んだ。最終日の9日は、午前9時半から男女の準決勝と決勝が松茂町総合体育館である。

6月26日～7月2日

海外



てらうち・よしゆき 美波町出身。阿南工業高校卒。住友不動産販売などを経て、2006年5月から日和佐不動産社長。堺市南区在住。49歳。

大阪市住之江区を拠点にした阿波踊り連「南大阪連」の幹事・広報も担当。堺徳島県人会を窓口に連の基盤を固め、大阪南部地域での阿波踊りの普及に力を込める。

県人会の副会長に就いたのは昨年4月。「県人会が誇るのは、やっぱ阿波踊り。就職して、それから始めようと考えている人はたくさんいる」。連のホームページを見て問い合わせてくるケースもあり、受け皿づくりに余念がない。

大阪市内の電気通信工事会社に入社した1998年から、同社が母体の阿波踊り連に入った。連

## 寺内 義幸さん

堺徳島県人会会長  
副会長

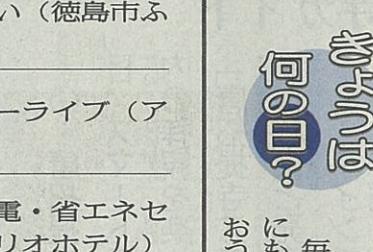
県出身者遠くでトーク

長が亡くなつたため、91年に新たに結成された「南大阪連」のメンバーに。踊りを担当し、連員の指導にあたる。連員約50人のうち徳島県出身者は10人ほどで、ほとんどは「なにわっこ」。例年、8月には徳島市の演舞場に踊り込み、日々の練習成果を披露。10月に実施される堺まつり(堺観光コンベンション協会主催)の大道芸でも、乱舞を繰り広げている。

## 阿波踊り普及に尽くす

## 県内

## 国内・海外



▶徳島大空襲を語るつどい(徳島市ふれあい健康館)

▶綾小路きみまろスーパーライブ(アスティとくしま)

▶電力エコとく 緊急節電・省エネセミナー(徳島グランヴィリオホテル)

▶米独立記念日▶衆参両院議員の所得公開▶英国人女性殺害事件で市橋達也被告の裁判員裁判初公判(千葉地裁)

▶サッカー 女子ワールドカップ(W杯)1次リーグ=日本—イングランド(ドイツ)▶ゴルフ 日本アマチュア選手権(～9日・愛知県三好)

4月

5月

止せざるを得ない」。小学校の体育館や河川敷が主な練習場所だ。

91年に転職した住友不動産販売を退社し、2006年に独立した。母親が美波町で営んでいた不動産会社を株式会社化。

堺市に本店を移転し、美波町の店を徳島支店とした。仕事の関係もあり、2ヶ月に1度は美波町に帰っている。

母校・日和佐中学校のサッカー部OBが集い、現役部員と交流試合をする元日の恒例行事を楽しんでいる。郷士愛は人一倍強く「阿波踊りのおかげで、仕事をにおいてもさまざまな恩恵を受けた。徳島を愛しており、どこに住んでも徳島県出身だと声を大にして言いたい」。